

令和5年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会 会議録

- 1 会議名 令和5年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会
- 2 開催日時 令和5年5月10日（水）午後3時～午後5時
- 3 開催場所 木更津市役所朝日庁舎 会議室A1・A2
- 4 出席者名
委員：石渡勇斗、吉田信明、古川哲也、川名達也、佐久間智之、富田浩
鶴岡久美子、千代倉順、兼近裕美、伊藤素子、鎌田節子、地曳昭裕
内田慎一郎、石村比呂美、三好主晃、白石和義（16名）
事務局：廣部昌弘教育長、秋元淳教育部長、亀田聡史教育部次長、
鈴木和代教育部次長兼文化課長、鈴木玲子生涯学習課長、山下理係長、高石篤係長、
石川浩美主任主事、地曳由起会計年度任用職員（9名）
協議事項（2）説明のため出席
難波秀和まなび支援センター所長、松本明子図書館長
谷畑美帆郷土博物館金のすず館長、稲葉昭智郷土博物館金のすず副館長、
水越学中央公民館長
5. 協議事項
（1）各委員の選出について（別紙参照）
（2）令和5年度社会教育・生涯学習関係重点目標及び主要事業について
（3）協議
（4）その他
- 6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人0名
- 7 資料
令和5年度社会教育委員会議第1回定例会次第
令和5年度社会教育委員会議第1回定例会資料
令和5年度重点目標・施策
千葉県社会教育委員の心得
木更津市少年自然の家キャンプ場のしおり令和5年度版
日本PTA新聞
令和5年度社会教育委員名簿

8 会議の内容

事務局 ただ今より、木更津市社会教育委員の委嘱状交付式を開催いたします。
生涯学習課長 それでは、お名前をお呼びいたしますので、恐縮ですが自席にてご起立くださるようお願い申し上げます。

委嘱状授与—廣部昌弘教育長

介添え — 秋元部長

名前読み上げ—鈴木課長

事務局 ありがとうございます。以上を持ちまして委嘱状交付式を終了いたします。

ただいまより令和5年度木更津市社会教育委員会第1回定例会を開催いたします。本日は委員18名中16名の出席があり、欠席はございません。従いまして教育委員会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので会議は成立しております。なお本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されておりますが、本日の傍聴人はおりません。以上報告いたします。

それでは、今期最初の会議でございますので教育委員会の職員、ならびに委員の皆様のご紹介をさせていただきたいと存じます。

まず、教育委員会事務局の職員を紹介させていただきます。

職員紹介／自己紹介

続いて委員の皆様より自己紹介をお願いいたします。

委員自己紹介

事務局 続きまして、廣部教育長よりご挨拶を申し上げます。

廣部教育長 皆さん、こんにちは。教育長を務めさせていただいております、廣部と申します。3年目になりました、今年度もよろしく申し上げます。本日は令和5年度社会教育委員会第1回定例会ということで、平日の午後の大変お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。感謝申し上げます。

ただ今会議に先立ちまして、委嘱状を交付させていただきました。先ほど事務局からもありましたが、まだ公民館運営審議会、子ども会育成連絡協議会からはご推薦いただいておりますので、全員お揃いというわけではないのですが、新たに川名委員、兼近委員、鎌田委員、三好委員に加わっていただきました。継続委員の皆様と共に、本市の社会教育、生涯学習の発展の為に力をお貸しいただければ幸いです。よろしくお願い致します。

私今週は中学校を全部回ろうという事で動いております、昨年度、木更津市の中学生の不登校数が200人を超えたのですが、これは私が教育委員会にお世話になってもう18年くらいになりますけども、その間で最大の数字です。新型コロナウイルスの影響で『学校に行かなければならない』という気運がとても下がっているのか、「オンラインで不登校対策をやろう」と全中学校を回って校長先生と話をし、不登校の状況を直接聞いているところでございます。新聞等で引きこもり100万人時代と報道されていますが、日本国民の人口は減ってきているけれど引きこもりの数は右肩上がりに増えているとのこと。不登校が増え、引きこもりが増えているという事実を、私たちはどうやって捉えていったら良いのかと考えているところです。人と繋がれない子どもたちが非常に増えてきていて、社会から活気がなくなっているのではないだろうかということで、学校は昨年度から「自立する力」

と「共生する姿勢」ということを最上位の目標においております。この「自立」「共生」は子どもたちだけではなくて、おそらく日本国民全体で若干弱くなってきているのではないかな、というのが私の個人的な感想でございます。3年前に中学校の教員を退職し、1年間千葉県の総合教育センターに勤めていたころ、当時自分は60歳、平均寿命から言うと残り24,5年、どうやって生きていこうかという事を真剣に考えた1年でした。私に限らず、どうやって生きていこうかと悩まれる方は、少なからずいらっしゃるんだろうなと考えると、キーワードは自己実現ではないかと思っています。上から目線的で嫌なのですが、「自己実現」「達成感」が得られる社会をどう作っていったら良いのだろうか、こうやってみたらうまくいった、あつこれ頑張っていこうかな、と思える社会というのは、社会教育分野、生涯学習分野の最高の目標になるのではないかと考えています。継続委員の皆様はお分かりだと思っておりますが、事務局スタッフのメンバーが相当変わっていますし、今年度から新メンバーの社会教育委員会議ということで、新鮮な風も間違いなく吹いてくると思います。是非、新しい形の、木更津型の社会教育委員会議と申しましょうか、色々なご意見を頂戴し施策に活かして、活力のある木更津市を作っていければと考えています。是非、ご協力、ご支援をお願いしたいと思います。

話が長くなってしまいましたが、今年度は、本日資料としてお配りさせていただいております、第3期木更津市教育振興基本計画のスタートの年になります。第3期ということで、1期2期の後継計画になりますが、若干書き方を変えまして、分かり易く整理してあります。是非、ご一読いただければと思います。

このあと、社会教育関係課・機関より今年度の施策や計画につきまして説明をさせていただきますので、社会教育委員の皆様には、ハード面ソフト面双方から、今後どうあるべきなのか、新たなアイデアですとか、様々なご意見をちょうだい出来れば大変ありがたいと思います。

本日は新しい任期最初の定例会ということですので、様々な役員を決定していただく場面もあろうかと思っておりますけれども、是非今後2年間よろしく願います。

事務局

ありがとうございました。それでは協議に入ってまいりたいと存じますが、今後の進行については木更津市社会教育委員会議運営規則第2条第4項により議長が務めることになっておりますが、議長が選任されるまでの間、仮議長を選出し、議事を進行したいと存じます。仮議長につきましては、事務局の方から内田委員にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

異議なし

事務局

ありがとうございます。それでは内田委員、よろしく願いいたします。

内田議長(仮)

それではご指名を受けましたのでしばしの間、議長を務めさせていただきます。よろしく願います。

それでは議事に入らせていただきます。協議事項(1)「議長および副議長の互選について」、事務局からご説明をお願いしたいと思います。

事務局

社会教育委員会議運営規則第2条により本会議には議長及び副議長を2名置くこととなっております。また、同2項により「議長及び副議長は委員の互選により定める」とございますので、選出について、お取り計らいいただきたいと思っております。

内田議長(仮)

ただいま事務局からの説明がありましたが、議長及び副議長の選出については、運営規則によりますと、『委員の互選により選出』となっております。こちらについ

てはいかがに取り計らいましょうか。

もし、何もありませんようでしたら事務局に案があるかもしれませんので、そちらで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

異議なし

内田議長(仮) それでは、事務局、よろしくお願いいたします。

事務局 例年、選考委員による選出がされておりますので、選考委員による選出という方法でいかがでしょうか。

内田議長(仮) ありがとうございます。それでは選考委員の選出はいかがいたしましょうか。ご意見があればお伺いいたします。ご意見がないようでしたら、事務局のお考えをお願いしたいと存じますが、事務局、何か案がありますか。

事務局 それでは事務局より選考委員を指名させていただきます。地曳委員、佐久間委員、吉田委員、そして事務方より生涯学習課長をお願いしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

内田議長(仮) いかがでしょうか。異議なしの方は拍手をお願いいたします。

異議なし

内田議長(仮) ありがとうございます。それでは別室を用意しておりますので、選考委員の方々にはそちらへ移動していただきまして、選考をお願い致します。なお、選考が決まりますまでしばし休憩となります。

休憩

内田議長(仮) 選考が終了したようですので、選考委員長より選考結果の報告をお願いします。

選考委員長 地曳より選考結果をご報告いたします。議長として白石委員、副議長として石村委員、同じく副議長として伊藤委員を選考委員として選出いたしました。

内田議長(仮) はい。ありがとうございます。ただいま、地曳選考委員長より、新議長・新副議長について選考報告がありました。新議長に白石委員、副議長に石村委員、同じく副議長に伊藤委員を選出することをお諮りいたします。いかがでしょうか。

異議なし

内田議長(仮) ありがとうございます。新議長に白石委員、副議長に石村委員、伊藤委員が選出されました。

それでは、以上を持ちまして仮議長としての役割を終わらせていただきます。皆様には会議の進行などご協力いただきありがとうございました。

事務局 内田委員、ありがとうございました。選考委員の皆様もありがとうございました。それでは、新しく議長になられました白石委員、副議長になられた石村委員、伊藤委員、前の席へ移動をお願いいたします。また、新議長、新副議長からご挨拶をいただきたいと存じます。

白石議長 ただいま新議長に選出されました白石です。今年4期目7年目になります。今まで内田議長が10年間議長をしていただいて、本当に偉大な議長だったのですが、僭越ながら出来る限りのことを努めたいと思います。何分初めてですので不慣れな点があるかと思いますが、皆さんの忌憚ない意見をいただいて、この会議を盛り立てていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

石村副議長 副議長の任をいただきました石村比呂美といたします。どうぞよろしくお願いいたします。私も、委員として長年席につかせていただいておりました。それぞれ皆さん熱い思いを持って社会教育活動をされていらっしゃる中で、私もいつも何ができ

るかな、と考えておりました。ラジオ局ですので、生涯学習フェスティバルの子どもたちの主張作文を放送で流したりとか、地域の皆さんをつないだりだとか、何かできる事があつたら声をかけてくださいというような立ち位置で座らせていただいております。今回副議長という事ですが、伊藤副議長もいらっしゃるし、大ベテランの白石議長もいらっしゃるという事で、しっかりお2人についていければと思っております。精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

伊藤副議長 副議長を務めさせていただくことになりました、伊藤素子と申します。今年で確か社会教育委員を務めさせていただいて5年目になるかと思えます。木更津子どもまつりを7年運営に関わっていることと、昨年から放課後子ども教室を開設したということで、生涯学習課には大変お世話になっています。それからまだPTAも現役で、斬新な改革をしていきたいという姿勢でやっております。本当に若輩だなどという気持ちでここに居るのですけども、現役子育て世代という立場をなるべく意識しながら、何か言えればいいなと思っております。よろしく願いいたします。

白石議長 では今年度はこの3人で進めてまいりたいと思っておりますので、みなさん、よろしく願いいたします。

事務局 早速ですが、運営規則第2条第5項の規定により白石議長に今後の進行をお願いいたします。

白石議長 それでは進めさせていただきます。協議事項(2)各委員の選出についてです。社会教育委員に対しいろいろな会議の代議員、委員の推薦依頼がきております。例年、任期途中の方はそのまま続けていただいておりますが、それ以外の委員の選任について、事務局に案があれば、お願いしたいと思っております。いかがでしょうか。

異議なし

白石議長 では、事務局、よろしく願いいたします。

事務局 今、議長よりお話がありましたとおり、各協議会・審議会等の委員の選出につきまして、各協議会・審議会等の任期と社会教育委員会の任期にずれがございます。任期中は、同じ方に継続していただくことでご了解をいただいておりますので、次のようにお願いしたいと思っております。次第に掲載しております順番にご提案申し上げます。

まず初めに、千葉県社会教育委員連絡協議会代議員につきましては、慣例により議長に就いていただいておりますので、白石議長にお願いいたします。任期については1年となっております。

君津地方社会教育委員連絡協議会理事につきましては、任期は2年でございます。今期は、理事4名となっております。こちらにつきましては、白石議長、石村副議長、伊藤副議長の3名と、経験のある古川委員にお願いいたします。

木更津市図書館協議会の委員の選出につきましては、次期任期が令和5年7月1日から令和7年6月30日となります。こちらは任期満了につきまして改めて図書館協議会委員の選任とさせていただきますが、伊藤委員にお願いしたいと存じます。

木更津市生涯学習推進協議会委員の選出については任期が令和4年4月1日から令和6年3月31日となっております。前任者の残任期間となりますが、内田委員にお願いしたいと存じます。

木更津市青少年問題協議会委員の選出についてでございますが、こちらは、任期

が令和6年5月31日までとなっております。千代倉委員にお願いしておりますので、引き続きお願いをしたいと存じます。

白石議長 　ただいま事務局より提案がございました。それぞれの委員について皆様にお諮りいたします。いかがでしょうか。

異議なし

白石議長 　ありがとうございました。今回お引き受けくださる委員の皆様、大役ですがよろしくお願ひいたします。

　続きまして、協議事項(3)「令和5年度社会教育・生涯学習関係重点目標及び主要事業について」各担当課より説明をお願いします。

各課長、館長等説明

①生涯学習課 ②文化課 ③まなび支援センター
④図書館 ⑤金のすず ⑥中央公民館

白石議長 　ありがとうございました。こちらについてご意見ご質問等ございましたら、よろしくお願ひいたします。三好委員、お願いします。

三好委員 　ご説明ありがとうございました。大変勉強になりました。知らないことが多くて、普段生活している中でこんなに色々なことをして頂いていたことを痛感した次第です。何点かご質問させていただきます。

　公民館についてですが、たしか岩根西公民館だったと思うんですけど、体組成計が置いてあったのを見て、素晴らしい活動だなと思ったのですが、ご利用されている方はどれぐらいいらっしゃるのでしょうか。また、「てくてく木更津わくわく散歩」において、参加している途中で足が痛い・胸が苦しい、となった時の対応はどのようにしているのかということについてお聞かせいただければと思います。

中央公民館長 　体組成計については、健康管理課で購入をして公民館に設置したというものでございます。既に利用はされましたか？

三好委員 　何度か。

中央公民館長 　精度が高く、色々な数値が出る機器となっております。設置当初、高齢の方が利用している様子を見ましたが、公民館としては体組成計に関する利用統計はとっておりません。ご自由にお使いくささいとしております。中央公民館に関しましては、私が見ている限り、日に10人から20人程度です。使い方が分からなければ、私どもで説明をしております。他の公民館についても、地域差があるとは思いますが同様の使用頻度ではないかと思っております。補足ですが、今年度は体組成計を使った健康講座をぜひ開催するように全公民館へ話をしましたので、体組成計関連事業が展開されるのではないかと考えております。

　もうひとつ、「てくてく木更津わくわく散歩」についてですが、木更津市では公民館の歴史が50年以上あり、社会教育活動や野外活動を通じて、地域の魅力を公民館がたくさん把握しております。それを活かし、地域の魅力を知ってもらうために、それぞれの公民館で企画をしたものです。市民に自分の地域だけでなく他の地域の事を知る機会としてもらいたい、という目的で始めた事業となります。この「てくてく木更津わくわく散歩」なのですが、職員は救護や何かあった時に対応できるよう複数配置をしております。ただ、各公民館の職員数が非常に少ないため、全15館の公民館を半分に分け、2館を1組のペアにして実施することで、必要な職員数を確保しています。併せて、公民館といたしましては地域の協力者にもお願ひをし

一緒にボランティアで歩いていただき、協力を得ながら対応をしている状況でございます。

三好委員 大変勉強になりました。続けて質問してもよろしいでしょうか。

白石議長 はい、どうぞ。

三好委員 まなび支援センターに質問です。小中学校等で、安心・安全にインターネット環境の利用方法を学ぶための啓発活動を行うという説明がありました。インターネットトラブルに関しては、若い方もそうですが、60代70代の大人の方も巻き込まれることが多いと思います。消費者センターでも啓発活動はやっていると思うのですが、教育関係では何かやっていないのでしょうか。

まなび支援

センター長 ありがとうございます。まなび支援センターは、幼年期から青年（二十歳）までを対象としておりますので、大人の方については消費生活センターへという形になります。

三好委員 ありがとうございます。私の方からは質問は以上です。

白石議長 引き続き質問等ある方いらっしゃいますか。富田委員、お願いします。

富田委員 まず公民館に、質問というわけではないのですが、新型コロナウイルス感染症が5月で5類になり、通常と同じ、コロナ前と同じような活動を目指しているという事ですごく期待をしているところではあります。敢えて言わなくても職員の方はわかってやったださっていると思うのですが、若干緩めはしても、注意は継続という事で、重々感染に気を付けて活動をするようお願いをしたいと思います。

次に、生涯学習課に放課後子ども教室について質問です。以前、私、放課後子ども教室の実行委員長をやらせていただいております。その当時、様々な理由で教室がなくなっていったところがあります。今後、復活の兆しとか、新しく立ち上げようとしている学校とか、情報があつたら教えていただければと思います。

中央公民館長 ありがとうございます。ガイドラインは改定したのですが、公民館全館、基本的には体温計も、消毒も設置してあります。様子を見てみると、やはり高齢の利用者が多いので、基本的には「ご自由に」とはしてあるのですが、みなさんやっいらっしゃいます。公民館としては、先ほど話した通り、元通りの生活に戻ってほしいという願いがあります。勿論富田委員のおっしゃるとおり、ウイルスには十分注意をしつつ元通りの生活に戻れるようにしていきたいと思っております。

生涯学習課長 放課後子ども教室についてですが、今年度1教室増えそうな動きはあります。お話をいただいているところがございますので、そちらと調整をしながら進めていきたいと思っております。

白石議長 ありがとうございます。地曳委員、いかがでしょうか。

地曳委員 私からは2点ございます。まずは1つ目、キャンプ場についてです。先程の説明で、少年自然の家キャンプ場の活動を盛り上げていくためすごく努力されていることが伝わってきました。同じように観光協会が、金田のみたて海岸のキャンプ場を一生懸命PRしているんですけども、それとタイアップのような、観光協会とうまく協力できないものかと思いましたが、現在城址ブームでもありますし、たくさんの方が興味をもつ場所だと思うので、郷土史講座とかやってみたらどうかと思います。

2つ目は、以前もこの会議でお話をしたと思うのですが、今、生涯学習課では二十歳を祝う会というのをやっているわけですが、成人年齢が18歳に引き下げられて

18歳が人生の大きな節目になっています。前回市議会議員の選挙があったのですが、若者が投票に行けるような啓発活動を二十歳を祝う会でもやっていただければと思います。今どちらかというと、18歳での選挙への参加については、高校や大学などの学校に任せているのですが、やはり社会と言いますか、地域で盛り上げるような、誘いのメカニズム・仕組みを作っていくと、木更津の若者は政治に興味がある、投票率が非常に高いというようになれば、社会教育の成果のひとつになるんじゃないかと思います。

もう一つ、これと関連するのですが、質問でなく要望です。図書館もそうですし、金のすず博物館も、公民館もそうなんですけども、若者に公共施設に来てもらう努力をしていただきたいと思います。公共施設の利用者は、子どもたちの場合は勉強という形で利用しに来るのも良いのですが、若者が利用したいと思えるような企画というか、そんなことをやっていただきたいです。

生涯学習課長 今後事業の詳細を詰めていきますので、ご意見として反映できればと思っております。二十歳を祝う会での選挙の啓発という部分では、現在ではチラシを配るという事はさせていただいています。二十歳を祝う会を開催するにあたって、対象者で実行委員会を立ち上げて、半年間かけてアトラクションを企画しております。その話し合いの中で取り組めれば、また違う動きがあるのかもしれませんが、これから動き始めますのでご意見として参考とさせていただきます。

白石議長 地曳委員からありました18歳の選挙の参加についてですが、吉田委員、木更津総合高校の高校3年生の担任ということですので、もし総合高校での選挙の啓発についてご意見いただければと思います。

吉田委員 特に大々的にはやってはいないのですが、選挙の啓発活動のポスターを貼ったり等はします。あとは社会科の教科の中で若干話しているとは思いますが。

白石議長 特に授業でやったりはされていないのでしょうか。

吉田委員 18歳って微妙な年齢で、18歳になった子は良いのですが、高校3年生でも18歳未満の子も大勢いるような状態です。ですので、全校上げて何かするというのは、なかなか難しいのかな、と思います。

白石委員 そういう実態なんですね。例として参考にして頂ければと思います。

地曳委員 我々大人もそうなのですが、若者の政治離れの事を真剣に考えて、木更津市の中だけでもやっていかないと考えています。きちんと少しずつでも決めて取り組んでいかないと、現状のまま、ずっと変わらないままになってしまうのではないかと懸念しています。これはもうここで話すべき問題ではないのですが、きちんと投票に行くという姿勢を、皆さんに取組んでいただければという要望です。そういう取り組みはすごく必要な時代だと思います。

佐久間委員 18歳の子に目が向いていますが、成人したとはいえやはり18歳、19歳、20歳はまだ未熟なところがあるので、子供に、というよりも大人に、親御さんに、という目線に変えてみても良いかと思います。まず、親が行く姿勢を見せる、親御さんが、大人が、選挙に行く姿を見せるのが大事なのではないかと思います。

白石議長 そうですね、親が積極的に選挙に行くことによって、子どもの投票率を上げるということですね。

あと、地曳委員から要望がありました、図書館、博物館、公民館、人を増やす施策みたいなもの、コロナが落ち着きましたので、そういうものがありましたら願

いたします。

中央公民館長

先程の事業説明の中で、公民館の目標の一つとして利用者の拡大という話をしたと思います。その利用者の拡大というのは、サークルの人達の増もそうなのですが、新しい世代、若い人をどうやって取り込むかという話もしています。若い世代が、これまでの世代のように集まって集団で学習をしたいのだろうか、今までのサークルの概念とは違う概念を持っているのではないかという話が出ています。中央公民館に自習&ワークスペースが目の前にあるのですが、昨年度3月末までで2万人の学生が使っています。若い人、特に学生や、20代、30代の方たちが、何を求めているかというところを今後研究して、どうしたら公民館を使うのか、新しい学習活動に繋がっていくのかを、スペース利用者の学生に話を聞いているところです。

もう一つは先ほど話をした「てくてく木更津わくわく散歩」なのですが、公民館でイベントをやると、公民館リピーターたちが参加されます。年齢層は70歳代以上なんですけども、今年は実施するにあたって、リピーター以外の方も惹きつけるような、幅広い年代の方に訴えかけるようなものをやろうという指示をしました。親子で参加できるようなものをなるべく計画してくれと指示したところ、先ほどの140名の参加の中で、高齢者を60歳以上の人と想定しますと、約35%がそれ以下という人数になっておりますので、そういう意味では今まで公民館を使ったことのない人、若い親子ですとか、来ていただいていると思っております。更なる工夫は必要だと思っておりますけども、公民館としても、新しい令和に向けた学習団体みたいな構成を考えていきたいと思っております。

博物館副館長

実は高校生、大学生がどのくらい博物館に来ていただいているんだろうと統計を、今年の2月に作りました。平成20年から全体のお客様が約12万人、そのうち高校生大学生が1200人、1割という結果でした。これはどうしたものかな、と思っております。それとは別に今年の4月から、高校生、大学生の入館料が有料から無料に変わりました。今後統計を取っていくので、これがどう影響するかはまだ分かりませんが、若い方の利用ということについて、入館料の有料・無料で解決できる話なのか、それともまた違ったところで方策を考えていかなければいけないのかということを検討していきたいと考えています。先ほども言いましたが、新館長になってからかなり博物館も変わりました。SNSの発信など始めてみようということで、館長を中心にその動きに取り組んでいるところです。それがどのような影響を及ぼすか、今後推移を見守っていただければと思います。

図書館長

コロナが5類に変わったので、自習コーナーを大会議室に復活させようとしております。少しずつ、高校生、大学生の若者が放課後寄れる場所に戻ると考えております。ブックスタートの世代から親御さんと一緒に本に親しむような事業を基に、成長したお子さんが小学生・中学生となって、自主的に本が読みたいという意思に繋がっていくのではないかと考えておりますので、地道ではありますが、お子さんが小さい段階から本に親しむ活動を重点的にやっていきたいと思っております。土、日の様子を見ますと、家族連れで図書館に来て10冊も20冊も、かごにいっぱい絵本を入れて借りていく姿が多く見られます。そういう小さいころからのつながりが、大きくなってから、公共施設に自分ひとりでも足を向けてみようという気持ちに繋がっていくと思っております。

白石議長

それぞれの部署で、親子連れなどの若者がどんどん利用できるような体制を作っ

てくれているのですね。

それでは次第の（４）その他、事務局よりお願いいたします。

事務局
白石議長

事務局連絡

何か確認したいことはございませんでしょうか。今年度新たに４名、社会教育委員になられましたけど、配付された資料を参考にいただければと思います。

それでは、第１回社会教育委員会議を終了させていただきたいと思います。事務局にお返しいたします。

事務局
教育部長

ありがとうございます。教育部長から一言、お願いいたします。

教育部長をしております秋元です。今日皆様にお配りした、第３期木更津市教育振興基本計画は、この春策定いたしましたので、今年度から４年間の計画になっております。これに沿って我々は各施策を展開していくわけですが、もうひとつ、令和５年度重点目標・施策というものがあります。これは単年度で、今年何をやるかというところを書いてあります。こういうものに沿いながら、我々教育委員会として一生懸命市民の社会教育活動が豊かになるように頑張っていきたいと思います。今日、社会教育委員に委嘱状をお渡しいたしましたけども、我々と一緒に、よりよい木更津の社会教育を上げる為に、またいろいろな意見をいただきたいと思います。オブラートに包まないで、もっと言ってもいいんだよ、というところまでいけると最高かな、と思っておりますので、白石新議長を先頭に教育委員会職員も身を引き締めて頑張っていきたいと思いますので、是非、ご協力、また、より良い意見等をいただければと思います。これからよろしくお願いします。

事務局

以上で定例会を終了いたします。ありがとうございます。